

2023年11月17日

パナソニック ホールディングスと Apollo が
パナソニック オートモーティブシステムズの事業に関する
パートナーシップについて基本合意

パナソニック ホールディングス株式会社(以下、PHD)は本日、Apollo Global Management Inc.のグループ会社(以下、Apollo)と、パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社(以下、PAS)の事業に関して両社が共同パートナーになることに合意し、基本合意書を締結しましたのでお知らせします。

今回の合意に基づく取引が実現すれば、PHD が現在 100%保有する PAS の株式の一部を Apollo が投資助言を行うファンドが取得し、PAS は PHD の持分法適用会社となる予定です。今後、2024 年 3 月末日までの正式契約締結を目指し、詳細について独占的に協議していきます。

PAS は、パナソニックグループのオートモーティブ事業を担う事業会社として設立され、インフォテインメント領域をはじめとする先進技術を提供し、快適で安全・安心な車づくりに貢献しています。電動車への急激なシフトとともに、車両のアーキテクチャーが大きく変わる中で、今後、更なる強化が求められるソフトウェア開発や電動化への対応において、長期的な成長を図るため、継続的な投資が必要となります。今回のパートナーシップにより、成長ストーリーを共有し、成長事業の開発力を強化することなどのための大規模かつ新たな資金調達機会を得ます。

PAS は将来の株式上場を視野に、急速な進化を遂げる車載コックピットシステム領域を中心に業界トップクラスの競争力と経営体質を備えたリーディングプロバイダーとして、より一層の成長と発展を実現していきます。

なお、PHD は引き続き、経営理念を中心とした価値観を共有するパナソニックグループの一員として PAS を支援し、互いの企業価値最大化に向けて他のグループ各社と共に連携を図っていきます。

以上

パナソニック ホールディングス株式会社について

1918年に松下幸之助が松下電気器具製作所を設立・創業。株式会社組織となった1935年以降、松下電器産業株式会社、パナソニック株式会社への社名・体制変更を経て、2022年4月1日にパナソニック ホールディングス株式会社を持株会社とする事業会社制(持株会社制)へ移行しました。2022年度のグループ連結売上高は8兆3,789億円で、グローバルに事業を展開しています。

URL: <https://holdings.panasonic/jp/corporate/about.html>

Apolloについて

Apolloは、高成長を続けるグローバルなオルタナティブ資産運用会社です。イールド、ハイブリッド、エクイティの3つの投資戦略に焦点を当て、投資適格からプライベート・エクイティまでリスク・リターンスペクトラムのあらゆる分野で超過収益を創出することを目指しています。Apolloは30年以上にわたり、統一されたプラットフォームを活用した専門知識によって顧客のニーズに応え、且つ投資先企業の成長を支援する革新的な資本ソリューションを提供してきました。また、リタイアメント・サービス事業であるアテネは、退職貯蓄サービスのソリューション・プロバイダーとして、顧客の経済的な安定の実現を支援しています。Apolloの投資アプローチは、顧客、投資先企業、従業員、コミュニティとのアライメントを有しています。2023年9月30日現在、Apolloの運用資産額は約6,310億ドルとなっています。

URL: <https://www.apollo.com/>

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社について

2022年4月1日に設立され、国内外の自動車メーカーにTier1としてインフォテインメントシステムをはじめとする先進技術を提供し、快適で安全・安心な車づくりに貢献しています。2022年度の売上高は1兆2,975億円、国内外61拠点、従業員約3万人のグローバル企業です。

URL: <https://automotive.panasonic.com/>